

医学系研究に関する情報公開および研究協力をお願い

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	A病院緩和ケアチーム介入患者における褥瘡発生の実態
研究責任者	聖隷浜松病院 看護部管理室 大杉純子
研究実施体制	院内
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ～ 2025 年 2 月 28 日
対象者	2024 年 1 月から 2024 年 12 月までの間に聖隷浜松病院に入院し、緩和ケアチームが介入した悪性腫瘍に罹患している患者さん
研究の意義・目的	緩和ケアは、悪性腫瘍、後天性免疫不全症候群、慢性疾患の末期状態で療養する患者さんなどが対象になります。終末期においては、skin failure(皮膚の不全)や KTU (Kennedy Terminal Ulcer)といった皮膚の特徴を認めることがあります。また、全身倦怠感や疼痛、呼吸困難などにより活動性・可動性が低下すること、栄養状態の低下や皮膚の湿潤状態により組織耐久性が低下することなどから褥瘡が発生しやすい状態になります。終末期がん患者さんに褥瘡が発生した場合、身体的・精神的苦痛が増加し、生活の質が低下することがあります。本研究は、緩和ケアチームが介入する悪性腫瘍に罹患している患者さんの褥瘡発生やケアの実態を振り返り、ケアを向上することを目的に行います。
研究の方法	対象患者さんについて、診療録から以下の項目の調査を行います。 疾患名、治療内容、日常生活自立度、性別、年齢、身長、体重、BMI、病名、検査データ(アルブミン・CRP)使用薬剤、身体症状(38 度以上の発熱、全身性の浮腫、強い呼吸困難、強い疼痛、)の内容、STAS-J (Support Team Assessment Schedule 日本語版)、褥瘡発生日、褥瘡部位、褥瘡の深さ、褥瘡発生要因(個体要因・環境ケア要因)、褥瘡ケアの内容、転帰
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 看護部 (氏名)大杉純子 TEL:053-474-2222(代表) 9:00～17:00 平日